

楓園

ISSUE
2025 6/1

100

FÛEN [フウエン]
Toyo Eiwa Jogakuin
Public Relations Report



memorial issue



特集1

VISION

～学院各部の取り組み～

特集2

私たちにとって英和生とは？

～英和での生活を支える人々～

東洋英和女学院
東洋英和楓の会

敬神奉仕

Being Active in God's World

～神さまから委ねられた世界で、人々のために自ら考え行動する～



特集1

VISION ～学院各部の取り組み～

院長 高橋 貞二郎



昨年、創立140周年を迎えるにあたり、各部代表者が集まって、10年後の学院の姿を描いたビジョンを策定しました。学院は創立以来、キリスト教に基づく教育を大切に、学院標語「敬神奉仕」の精神を身につけるだけでなく、それを実生活の中で実践できる人を育み、世へ送り出すことを使命としてきました。今回のビジョンも、この変わらぬ使命を土台としています。

ビジョンの実現には具体的な目標設定と行動計画の構築、そして定期的な進捗評価が不可欠です。また、その取り組みを各部や学院全体で共有することも重要です。

各部がそれぞれの教育段階に応じたビジョンの実現に取り組み、祈りと力を合わせて着実に前進してまいります。未来へ向かう学院に、どうぞご理解とご支援をお願い申し上げます。

前列左より：

山下 久美 大学付属かえて幼稚園長
高橋 貞二郎 院長
増淵 稔 理事長
西田 哲也 法人事務局長

後列左より：

岡田 光弘 東洋英和幼稚園長
吉田 太郎 小学部長
石澤 友康 中高部長
星野 三喜夫 大学学長

Contents

表紙：楓園過去号に登場した英和生たち

- P.01 [特集1]
VISION ～学院各部の取り組み～
- P.05 [特集2]
私たちにとって英和生とは？
～英和での生活を支える人々～
- P.09 From the Garden of Kaede
楓の園から [学院 NEWS]

- P.15 Cartmell's Prayer
[宗教教育委員会]
- P.17 教員紹介
- P.19 学院人事
- P.21 東洋英和楓の会

「楓園」について皆様のお声を聞かせてください。





150年、そしてその先へ

2024年11月6日、学院創立140周年記念式典と10年後の150周年に向けたパネルディスカッションが行われました。敬神奉仕を実践する人となるためにどのような行動をしていけば良いかを定めた新しい学院ビジョン「敬神奉仕“Being Active in God’s World”～神さまから委ねられた世界で、人々のために自ら考え行動する～」が策定され、そのような人々を育てていくことが学院創立150周年に向けた学院目標となりました。

これを踏まえた大学の150周年に向けたビジョンの策定にあたっては、大学ビジョン・ワーキンググループをアドホックに設置し、そこで出された原案をもとに関係者から意見を求めました。高校生や在学生を含む大学ステークホルダーにも理解し易いものにすべきということに第一義に、また、大学の3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）も踏まえて、できるだけシンプルで、かつ設置準備中の2026年度学部学科改組（後記）における新学部の方針や目的を反映させて作成することにしました。

そのようなプロセスを経て、「学院創立150周年に向けた大学ビジョン」が作られましたので以下にご紹介します。ビジョンは、大学の「ミッション」の確認と大学が「求める学生像」の2つで構成されています。

学院創立150周年に向けた大学ビジョン

■ミッション

神様から愛され見守られていることを知り、自分を受け入れ大切にしながら、周りの人を理解し、愛し、大切に建学の精神である「敬神奉仕」の理念を実現する。そのため、人間性の陶冶と人格の形成を行うリベラルアーツの教育を通じて、協働力と共感性が高く、人と世界を深く理解する幅広い視野と多様な視角を持ち、より良い未来を構想し行動する人を社会に送り続ける。

■求める学生像

豊かな環境の中で、学生一人ひとりを大切に学生に寄り添う東洋英和のキリスト教を土台とした教育のも

と、自己肯定感が高く、変わることを怖れずに、自分らしく主体的に行動し、経験値が高く、柔軟でしなやかな人間になることを目指す。その過程を通して、時代にふさわしい社会性と国際性ととも、深い専門性と幅広い教養を身につけ、豊かな人間性を育み、目的意識、積極性、コミュニケーション能力を重視して、豊かな個性と多彩な能力を培う。

2024年に開学35周年を迎えた大学は、「その先」を見据えて本学らしい、本学ならではの教育を行うための取り組みに着手しています。その一つが2026年4月に構想している大学改革です。人間社会学部の1学部と総合心理学科、子ども教育学科、国際学科の3学科*に新しく生まれかわります。「変わることを、楽しむために。」をコンセプトに、従来は学部学科ごとに設計されていたカリキュラムを大きく編成し直し、学生が横断的に授業を選択でき、より柔軟に、より専門的に学びを深めることを可能にします。学生に寄り添い、途切れることのない学生の成長支援をスタートさせます。

高等教育を取り巻く環境が想定を超える速さで変化し、多様性が重視されるこの時代にあって、規模が小さいがゆえに教職員との距離が近く、学生一人ひとりを親身にケアすることを重視する本学の女子高等教育の良さは、その社会的価値や意義は高まりこそすれ薄まることはありません。

学院創立150周年に向けて、大学はこの先10年もキリスト教に基づく高等教育機関として、また学院の各部とビジョンを共有する教育共同体として歩みを進めてまいります。キリスト教の教えに基づいた礼拝を大切に、学生に寄り添い、神から委ねられたミッションを一人ひとりが自覚し、また神から遣わされていることに感謝して、喜んで神と人のために奉仕する「敬神奉仕」を実践する人をこれからも世に送り続ける女子高等教育機関としての使命を果たしていきたいと考えています。

*設置構想中

“So, no matter what I say, what I believe, and what I do, I’m bankrupt without love”
(1 Corinthians 13 :3b)

聖書の言葉



これは、私の一番好きなコリントの信徒への手紙一、13章3節bの英訳です(MSG訳聖書より)。もし私が日本語に訳すならば、“何を言おうと、何を信じようと、何をしようと、愛がなければ私は破綻している”。人生、後悔したくない。誰もがそう思うのではないのでしょうか。でも、どうしたら悔いのない人生を送ることができるのか。この手紙を書いたパウロは、「愛は決して滅びません」とも書きます。迷ったら愛を選ぶ。やらねばならぬことはたくさんある。でも、限りある人生。滅びることのない愛に生きる。学院標語「敬神奉仕」のエッセンスです。

前学院宗教部長(横浜校地) 箕口 窓香



「敬神奉仕」の実践者を育てる

中高校には不動のスクールポリシーがあります。それは「敬神奉仕の実践者の育成」です。他者のために、なすべきことを自ら考え、行動できる人物を育成し、世に送り出し、社会に貢献する。そしてありのままの自分をよしとする“自己肯定”、自分と同様に神に愛されている他者も大切にする“他者尊重”の精神を、礼拝を中心としたキリスト教教育により養う、というものです。

この人間教育はぶれさせることなく、そのうえで未来を志向し、さらなる教育の充実を図ります。具体的には、生徒の実力を伸ばすことに実績のある英語教育は常にアップデートし続け、同時に海外留学支援の充実、海外校と姉妹校提携し、交換留学を実現させる計画を持っています。これらにより国際性を養います。私学最先端のICT環境を有する中高校では、これを大いに活用し、既成の教室内での学びにとどまらない未来型の学習が可能となるようにハード面・ソフト面を整えます。生徒の進路指導やキャリア教育は多士済々なOGの力を借りつつ、これま

で通り生徒の個性に合わせた多様性を大事にします。また、長い人生を豊かに生きるうえでの教養教育、とくに芸術や読書を中心に感性を磨く機会を増やします。

生き活きたとした学校生活のために課外活動も大事です。とくに野尻野外活動はリーダー養成にも力を入れキャンププログラムの質的向上を図ります。また、2024年度に受賞した「日本生徒会大賞」を礎にし、自分たちで考え実行していく生徒会活動が引き継がれるように促し、失敗を恐れずチャレンジさせ、仲間とそれを乗り越える経験を多く確保します。

教育環境の充実のために、既存施設のリニューアルを実施予定です。現在は教室モニターと映像配信設備の刷新を計画中。100周年時建築された特別教室もリノベーションの時期です。また来るべき150周年には記念事業として体育館全面建て替えの大プロジェクトを検討します。そのために多大なご支援をいただきたくよろしくお願い致します。



変わらずに、変わり続ける 150周年へ向けた小学部の教育

小学部教育の目的は、学院標語の「敬神奉仕」を東洋英和の一貫教育の中で、子どもたちに伝え、人格形成の基礎として『神さまのために、人のために』働くことのできる人間を育てることにあります。

そのためには、子どもたちが好奇心や創造性、強靭さとしなやかさ、自立し自走できる力、自ら問いを立てて、解決していく力を身につけることが大切であると考えます。これからの小学部での学びが“Being Active in God's World”という、学院ビジョンの土台となるべく、すべての教育活動が「敬神奉仕」につながるよう、聖書のみことばを中心とした学校教育をこれからも継承していきたいと願っています。

小学部では家庭学習の習慣化と基礎基本の徹底を促し、確かな学力を定着させることができるよう低学年での複数担任制や高学年算数の習熟度別少人数授業、外部客観テストの活用などの取り組みを行なっていきます。その上で、「本物に出会う教育」として伝統的な軽井沢追分

寮での夏期学校や茨城県での春、秋、冬の体験宿泊学習にて農業、水産業、漁業、歴史や文化芸術などに触れる効果的な学びを進めていきます。

二十数年続けてきた韓国の梨花女子大学附属初等学校(Ewha)との姉妹校のつながりに加え、オーストラリアへの国際交流プログラムや港区のアドレスを活かした大使館訪問やインターナショナルスクールとの交流など、平和学習や世界への視野を広める取り組みを充実させるべく、これからも模索していきます。

東洋英和幼稚園と小学部は六本木五丁目西地区再開発事業の只中にあり、不確かな移転時期など難しい舵取りを求められています。また諸物価の高騰が続くなど、学校運営は容易ではありません。そんな時だからこそ、創立140周年から、次の150周年を目指しつつ、草創期の先人たちの建学の精神に立ち返り、キリスト教学校としての教育の本質、東洋英和のミッションを問い続けていきたいと考えています。

東洋英和幼稚園

園長 岡田 光弘



150周年に向けて大切にしたいこと

東洋英和幼稚園では、聖書にある「成長させてくださるのは神」というみ言葉を大切に、子どもたちは神さまの溢れる恵みを受け、成長しています。幼児期に、目には見えない神さまの存在に気づくことを大切にしています。子どもたちは神さまから与えられた自然豊かな庭で、多くの経験を重ね関わる中で、目には見えない神さまの存在に気づいていきます。自分より小さな生き物や自然に愛着を感じ、大切に思い、その命や成長に喜びを感じています。そして、自分と同じように愛されてい

る存在を覚え、日々の生活の中で仲間と共に感謝し、祈り、賛美しています。

今後、仮園舎・新園舎へと移転が行われても、幼稚園で守り続けてきた保育の本質は大切に守り続けたい、引き継いで行きたいと願っています。

また、園外保育等も見直し、子どもたちの思考力や創造力がより刺激され、社会性、協調性、感性が育まれていく行事を計画していく予定です。

小学部との連携も更に深めたいと思っています。



大学付属かえで幼稚園

園長 山下 久美



この時代に立った東洋英和の保育の場として

かえで幼稚園はキリスト教を基に、地域の子もたちとその家庭に貢献すると同時に東洋英和の保育者養成に寄与することを目的として1973年に短期大学を母体に設立され、最新の保育学研究から理想の保育を追求し、具現化することを目指してきました。

子どもたちは、かえで幼稚園の保育の中で、神に愛されている自分を見出し、主体性をもって生き、自己実現できる土台を培い、他者を愛し、幼児なりに愛を実践する者となっていきます。社会で活躍する卒業生の姿や、毎年喜

んでケニアの友だちへの学資援助のためのクッキーづくりに取り組む年長児の姿にもその一端が見られます。

この豊かな保育の本質を変えることなく、両親の就労率が70%を超えた現在、かえで幼稚園には社会的なニーズに合わせて、保育形態を変化させていくことが望まれています。今後、より多くの公的な補助金を得ることができれば、今まで入園が難しかった家庭にも質の高い東洋英和の保育を提供することが可能になるでしょう。学院の一枝として進むべき方向を見定めて歩んでいきます。



法人事務局

局長 西田 哲也



ビジョン達成への道を、共に歩む

法人事務局は、各部において150周年に向けたビジョンを達成するための教育活動が確実に実践できるよう、財政、職場環境や各種制度を整えていくことが使命です。

もっとも、学校の現場から少し距離があるため、園児、児童、生徒、学生に直接働きかける機会には恵まれません。仕事の内容も、教育というよりは企画調整や事務作業が中心であり、高橋院長が昨年11月のパネルディスカッションに先立ち話された石切り職人の姿に重なります。同じ作業をしていますが、気持ちの持ち方でやりがい

三者三様に分かれる石切り職人たちの話は、多くの職員の心に響きました。ある職員はアンケートで、今回のビジョン策定とパネルディスカッションを経て、キリスト教をベースとする東洋英和女学院で働くことの意義を、改めて認識することができました、と回答していました。

学院全体の目標に向け頑張って達成しようとする気持ちは、各部で日々教育活動に取り組む先生方と同じです。一般職員もそれぞれの持ち場において、全力で職務に取り組んでいきます。



私たちにとって 英和生とは？

～英和での生活を支える人々～

それぞれの持ち場で、英和生を見守る皆さんに、
英和生についてのイメージをうかがってみました。



英和での生活を
支える方々
[用務]



こんな仕事です! 校内の清掃を行っています。秋にはイチョウの枯れ葉を集めながら银杏拾いや、中高部の楓祭で出た廃材を乾燥させた木材で焼き芋もします。



MESSAGE

小学部職員(用務担当) 堀米 美雪さん

東洋英和の第一印象は「こんな都会で银杏拾いや焼き芋ができるなんて、なんて素敵なの!?!」でした。小学部の子どもたちは、银杏を拾い集めると「手伝いたい!」といってトングを使って楽しそうに手伝ってくれます。それはとても心が温まる交流です。入学式で不安そうな1年生に優しく話しかけてエスコートする6年生の様子や、掃除をしている時に「いつもきれいにしてくださり、ありがとうございます」と声をかけてくれるいろいろな学年の子どもたちに、なぜか私が誇らしい気持ちになります。英和生の成長していく姿に、ご家庭や学校での愛のこもったご指導を感じます。



◀银杏拾い



▲焼き芋の様子

英和での生活を
支える方々

[警備]

こんな仕事です! 正門受付で出入管理、警備室のモニターで監視カメラのチェック、登下校時には横断歩道の誘導も行います。夜間勤務もあります。



MESSAGE

二幸産業株式会社〔警備（六本木校地）〕

細野 武彦さん

幼稚園と小学部の子どもたちは元気ですし、中高部の生徒も楽しそうな様子です。低学年は、信号があっても道路の横断は危険なため、登下校時は気を配っています。転んだ時には、保健室に付き添うこともあります。中高部の生徒はにぎやかで楽しそうですが、体育館などで靴がきちんと並んでいるのを見ると「すごい」といつも感心しています。また、警備の者は雨の日でも傘をささないのが一般的なのですが、「なぜ傘をささないの?」と心配して先生に相談してくれたようで、以来、傘を使用させていただいています。心優しい子が多いですね。



英和での生活を
支える方々

[設備]

こんな仕事です! 快適に学校生活を送ってもらえるよう電気・空調・水道などの定期点検の他、机など仕器の修理、イベントの設営も行っています。

MESSAGE

二幸産業株式会社〔設備（六本木校地）〕

設楽 宣行さん

接することが多いのは中高部の生徒さんですが、とても勉強熱心で礼儀正しいと思います。文化祭などでプロジェクターの使い方を説明すると、きちんとお礼をしてくれます。学校の方針で自主性を重んじているせいか、最初に教えただけで、後は率先して生徒さん自身で操作をしています。また、学校の設備を大切に扱っているという印象が強いです。というのも、あまり物が壊れることがないからです。卒業時に、私たち設備担当者にも「今までありがとうございました」とあいさつをしてくださる生徒さんがいるのも東洋英和らしさを感じます。



大学

英和での生活を支える方々

紀伊國屋書店 東洋英和
ブックセンター

こんな仕事です! 大学内の書店なので、通常の書籍の仕入・販売以外に、教科書や学部で必要な書籍なども扱い、特設コーナーなど棚づくりも行います。



MESSAGE

株式会社紀伊國屋書店 廣瀬 怜南さん

就職活動関連や幼児教育系の書籍、絵本などが充実し、聖書コーナーがあるのは東洋英和ならではの、クリスマスプレゼントに絵本を購入される英和生も少なくなく、優しく、穏やかな雰囲気という印象です。検定関連書籍の購入も多く、書店のあるラウンジで朝から一人で勉強するなどまじめな方も多いですね。そんな皆さんを応援するためにも、これからも大学生の関心をリサーチし、思わず手を伸ばしたくなる品揃えを目指したいと思います。

◀ブックセンターで一番人気の英和グッズは付箋



MESSAGE

Yショップ
駒村 京子さん 今井 恵美子さん

お昼休みには、春雨のカップスープとおにぎりが人気です。カロリーを気にしている生徒さんが多いようで、表示をチェックするなど意識が高いと感じています。飲み物で人気なのは、水以外ではミルクティー。夏は炭酸系もよく出ます。コロナ禍以前に販売していた肉まんは、楓祭の時だけ復活させました。一度に蒸す量が限られているので、皆さん急いで買いに来てくれます。あまり体型を気にせず、健康に過ごしてくださいね。(駒村さん)
いつも楽しそう。帰りにあいさつをしてくれるので、こちらも元気をもらっています。(今井さん)

中高部

英和での生活を支える方々

ヤマザキYショップ

こんな仕事です! 昼食や軽食の仕入、発注、検品、販売をしています。校内なので営業時間が短いため、フードロスを出さないよう工夫しています。



大学付属かえで幼稚園

英和での生活を支える方々

看護師





小学部

英和での生活を支える方々

[給食]

給食ブログは
コチラから▶



こんな仕事です! 小学部の給食を作ります。育ち盛りの子どもたちの食事なので、しっかり食べてもらえるように丁寧な下ごしらえを心がけています。



MESSAGE

株式会社レパスト 落合 和之さん

最初は給食を食べられなくて泣いていた子が、高学年になるにつれて食べられるようになり、誰よりも早く食堂を飛び出していくようになっていく様子に成長を感じます。鮭のちゃんちゃん焼きやコロッケ、餃子、春巻きなど手の込んだ料理を「おいしい!」と食べている姿も、「妥協しないで作ってよかった」とやりがいを感じる瞬間です。子どもたちの笑顔が見たくて、給食を一生懸命作っています。私の天職だと思っています。

こんな仕事です! 体調のすぐれない園児のお迎えまでのサポート、感染予防やケガの手当をします。大きなケガをした時には病院まで付き添うこともあります。

MESSAGE

看護師
川村 絵理さん

園の生活の中で、葉っぱで指を切ったり、お友だちとぶつかったら痛いとか、どのくらい高いところからジャンプできるかなど、ケガすることを恐れずにいろいろな経験をさせてあげて成長を見守りたいです。遊びの中で、お友だちと衝突したり、思い通りにいかないことも体験します。自分で折り合いをつけたり、決断できる強さを身に付けてほしいと願っています。

東洋英和幼稚園

英和での生活を支える方々

[アルバム撮影]

こんな仕事です! 入園式から卒業式まで、卒業アルバム作成に関わるすべての学校行事および保護者などが主催する行事の撮影をしています。



/ Best Shot!

MESSAGE

恵雅堂出版株式会社 浅沼 浩さん

穏やかさもあがりながら元気、というのが子どもたちの印象です。泥まみれで園庭で走り回る姿、何かを作ることに懸命な姿に思わずシャッターを切ってしまう。一方で、礼拝ではとても敬虔な姿を見せてくれます。この礼拝が、子どもたちの人格形成によい影響を与えていると感じます。

From the Garden of Kaede

楓の園から[学院NEWS]

2026年4月

大学は1学部3学科の新体制に再編し、
新たに「**人間社会学部**」*を開設します。

【人間社会学部】

総合心理学科

- 臨床心理コース
- 発達・教育心理コース
- 文化・社会・心理コース

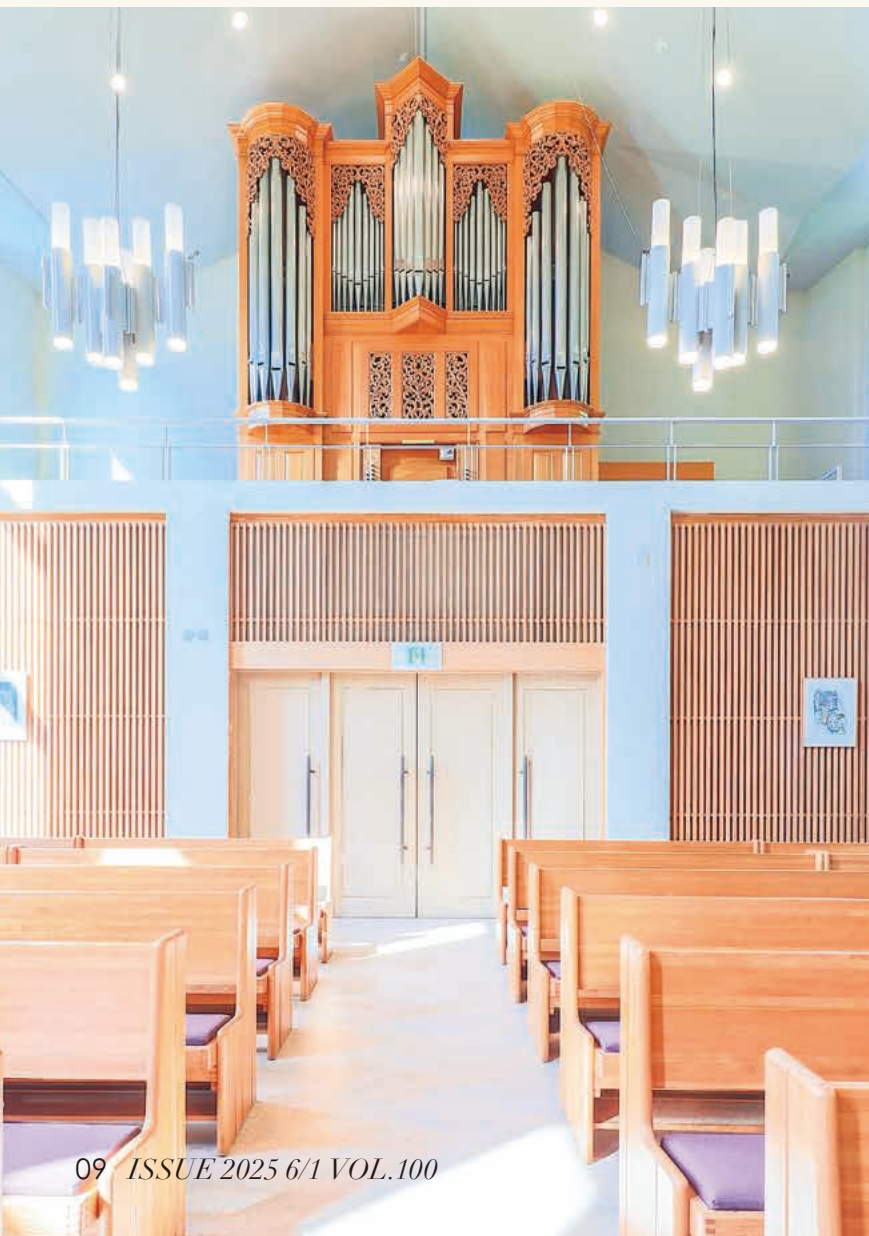
子ども教育学科

- 保育子どもコース
- 国際子どもコース
- 子どもアートコース

国際学科

- 国際コミュニケーションコース
- 多文化社会コース
- 国際協力コース

*設置構想中



学部学科改組によるリベラルアーツ教育の深化

副学長／人間科学部 人間科学科 教授 渡部 麻美
(2026年4月 人間社会学部長 就任予定)

2026年4月より、大学は2学部4学科から1学部3学科*に改組されます。新しい学部は人間社会学部、学科は総合心理学科、子ども教育学科、国際学科の3学科です。人間社会学部は、キリスト教に立脚したリベラルアーツ教育を土台として、それぞれの専門性を深め、人や社会のために行動する人を育てることを目的としています。また、主体的に行動することや現場に関わっていくことを学部全体で推奨し、人生全般にわたって学び、行動し続けるための基礎となる力を育てていきます。



各学科にはそれぞれ3つのコースをおきます。総合心理学科は臨床心理コース、発達・教育心理コース、文化・社会・心理コース、子ども教育学科は保育子どもコース、国際子どもコース、子どもアートコース、国際学科は国際コミュニケーションコース、多文化社会コース、国際協力コースという構成です。1年次に学科の基礎となる科目を学んだうえで自身が進むコースを選択し、2年次からそれぞれのコースのカリキュラムに沿った履修を始めます。コース選択によって、学生は自身の目指す進路を自覚しやすくなります。

学科・コースの学びが学部教育の縦系であるとするれば、横系にあたるのが領域横断プログラムとオープン科目です。領域横断プログラムでは、学部共通科目や学科専門科目を組み合わせることによって一つのテーマについて学修します。例えば、「『持続可能な世界』のためのシティズンシッププログラム」は、学部共通科目である「教養のための自然科学」、子ども教育学科の「子どもと国際社会」、国際学科の「国際協力論」や「グローバルサウス論」といった科目で構成されます。興味のあるテーマを体系的に学ぶだけでなく、学科を超えた科目の履修によって多面的なものの見方を身につけるこ



とができます。また、オープン科目は、各学科の専門科目の一部を他学科の学生に開放し、学部共通科目として履修できるようにする取り組みです。オープン科目を履修することで、学生は異なる分野の専門性の高い学修をすることができます。

今回の改組は、大学が元々備えていた特長を強化し、可視化することを主旨の一部としています。学科・コースと領域横断プログラムやオープン科目の組み合わせによって、学生は自身の関心にあった学びを実現できます。新学部での学びが、卒業後に出会うであろうさまざまな変化に対応し、自身もより良い方向へ変化していくための基盤になることを期待しています。そのため大学では、学生一人ひとりに寄り添う教育をこれまで以上に推進してまいります。学院標語である「敬神奉仕」の精神を変わずに継承していきながら、時勢に合わせて従来の教育内容を見直し、社会からの要請に応じていきます。異なる価値観を持つ他者を理解し、他者のために行動できる人を育成する教育をさらに充実させるため、大学もまた変化し続けます。



*設置構想中

生徒会ハローキティコラボ

生徒会担当 数学科教諭 平石 真紀

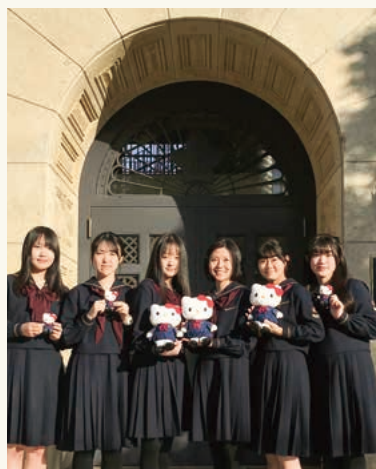
中高部生徒会では、創立140周年を記念して、株式会社サンリオとコラボレーションしたグッズを作成しました。これは株式会社サンリオエンターテインメントの代表取締役社長である小巻亜矢さんが東洋英和の卒業生であるというご縁もあり、実現したものです。2024年4月、まず中高部の制服を着たハローキティのぬいぐるみとマスコット、そして英和生の好きなキャラクターと校章の入ったアクリルキーホルダーの3種類を作っていたくことを決め、制服の画像をお送りしてぬいぐるみとマスコットの仮製作に入っていました。その後、生徒会は全校生徒に購入予定数と、キーホルダーに使いたいサンリオキャラクターを尋ねるアンケートを行い、製品の発注個数とキーホルダーのデザインを決定しました。一方で製品のサイズ、制服の色合いなどについて制作会社の担当の方と何度も相談を重ねました。制服に思い入れのある生徒会は、色合いはもちろん襟や校章の完成度をあげるのにも心を砕いていたようです。



制服ハローキティのぬいぐるみ(左)とマスコット(右)



英和生の好きなキャラクター、マイメロディ&クロミと校章の入ったアクリルキーホルダー



後ろに写る正面玄関の扉がアクリルキーホルダーにデザインされています

中高部生徒を対象とした受注販売は9月に行い、全校生徒の7割強が何らかの製品を買うという人気ぶりでした。楓祭(文化祭)の1週間前から製品の受け渡しをしましたが、「かわいい!」という歓声があちこちであり、作

成した生徒会としては大変嬉しい時間となりました。続く楓祭の一般販売でも、大変多くのお客様にご好評をいただき、制服ハローキティは瞬間に完売しました。売り上げは子宮頸がん予防啓発プロジェクト「Hello smile」に寄付いたします。

この企画のために試行錯誤を繰り返す中で、生徒会は非常に大きな学びを得たと思います。このような機会をいただけたことに感謝すると共に、将来この学びを存分に活かしてほしいと願っております。



2024年度生徒会長の金丸さんにハローキティコラボグッズを作成、販売した感想を聞きました

Q1 制服ハローキティを作成するにあたって、苦労したところはどこですか？

制服の色味の再現にとっても苦労しました。私たちの着ている制服と全く同じ色をハローキティに着せると、黒っぽくなってしまいうことで、少し明るめの紺色にしました。また、ネクタイは、「これだ!」という色の品番を決めても、実際に染色すると少し変わってしまうということがあり、何度も修正、確認を繰り返しました。

Q2 ハローキティコラボグッズを販売するにあたって、気をつけたことは何ですか？

楓祭での販売は、多くの方がいらっしゃる事が予想されたので、販売の動線や人員の確保についての事前シミュレーションを、生徒会評議会顧問の先生方とともに行いました。昨年度から導入された「おたすけっと」というシステム(生徒会の活動を単発的に助けてくれる人を募集するシステム)で販売を担当する生徒を募り、そのシフトを組んだり、事前連絡をしたり、たくさんの準備があり、楓祭前は忙しかったです。

Q3 実際に販売してみてどうでしたか？

楓祭当日は予想を遥かに超える方にお越しいただき、正直パンク寸前でした(笑)。会場警備のお父様方に誘導をしていただいたり、楓祭実行委員会チーフたちが手伝ってくれたり、たくさんの方々の協力があり、無事に制服ハローキティ完売となりました。お手伝いしてくださった方、ありがとうございました。

子どもたちとともに歩む日々：小学部事務室

小学部事務長 齊藤 真由美

子どもたちとの出会いは、「ピカピカの一年生」を受付で迎える入学式の朝から始まります。真新しい少し大きめの制服と帽子を被った一年生に、健やかに実り豊かな学校生活が送れますようにとの願いを込めて「ご入学おめでとうございます」を伝えます。可愛らしい笑顔で恥ずかしそうに緊張しながら自分の名前を言う姿から、私たちも喜びをいただいています。

そうして移りゆく季節をともに過ごす間に、さまざまな出来事に会います。

それでは、エピソードをいくつか紹介します。

■ヒーローになった日

遊んでいるうちに教室の蛍光灯に給食袋が引っ掛かったと、1年生の子どもたちが事務室に助けを求めてきたことがありました。子どもたちに連れられて教室へ駆けつけると、泣きじゃくる子と、その周りで説明する大勢のお友だちで大賑わい。その真ただ中で、椅子の上に乗ってつま先立ちをして目一杯手を伸ばし、やっとの思いで給食袋を取ることができました。すると、感謝の言葉とともに「ヒーローだ!!」の声が教室中に響きました。特別なことをしたわけではないけれど、とても心が満たされた瞬間でした。(気分は大谷翔平選手です)

■忘れられない思い出

私たち職員は、子どもたち一人ひとりと接する機会は限られています。そのような中でも、校外学習などのサポートとして行事に参加した後に校内で出会うと、元気に話しかけてくれる子どもたちがいます。そして、数年が経った卒業の前に「今でもあの時のことを覚えていま

す」と、声をかけてくれた6年生がいました。

忘れられない嬉しい思い出です。

■いつの間にかお姉さまに

保護者の転勤などにより、小学部を一時退学して国内外の学校へ転校されたご家庭から、半期ごとに現在の様子が書かれた「現況報告書」が届きます。転校したての頃、戸惑いと不安に押しつぶされそうな気持ちの中で、新しい生活に慣れようと必死に頑張る様子が書かれていると、心配で胸が痛くなることがあります。でも、その半年後、語学力も増して現地でのさまざまな出会いや体験を満喫している報告に、私たちもワクワクすると同時にその順応力に感心します。その後、再入学の日に背も高くなった「凛々しいお姉さま」にお会いすることができて、頼もしく感じたものです。

■劇的なドラマ

休み時間になると、校庭へ遊びに行かないで事務室のカウンターに来ては、おしゃべりをしていた子がいました。大人になって今では学院の仲間として一緒に働いています。また、卒業生が保護者になって再会を果たすこともあります。長く勤めていると、このような嬉しい劇的なドラマにめぐり逢います。

こうして、キラキラと眩しい6年間の小学部生活が過ぎて、いよいよ卒業の日を迎えます。私たち職員は、子どもたちのサポーターです。小学部を巣立っても、希望を胸に神さまと共に歩み続けることを心から願い、応援を続けます。



「はい、何ですか。」朝の事務室は大忙し



1年生 生活科の授業に出張中 この日のテーマは「事務のお仕事」

マイムマイム

年長組 担任 山本 由梨

幼稚園では子どもたちと年間を通して、踊りを楽しんでいます。初めは、一人で自由に音楽に合わせて表現を楽しみ、次は友だちと二人組、そしてみんなでフォークダンスを踊ります。ふと自分の小さい時に踊っていた「マイムマイム」の曲と踊りが頭に浮かび、ぜひこの踊りを子どもたちと踊りたいと思いましたが、幼稚園では踊ったことがありませんでした。教師のみでそれぞれが知っているマイムマイムを一斉に踊ってみると、前に進む時に手を繋ぐ、繋がらない、手を叩くタイミングや足のステップ等、少しずつ動きが違いました。教師間で相談していると、小学部では以前子どもたちと踊っていたことがあると耳にし、早速踊り方を小学部体育科の谷口先生に教えていただくことにしました。踊りの由来から始まり一つひとつ公式の踊りの動きを習いました。幼稚園児には難しい動きでも小学生にはできる複雑なステップ、踊りの中でチーム替えができるアレンジ方法等を学びました。当時(2024年度)の年中組の教師で話し合い子どもたちに合わせた踊りになるよう試行錯誤が始まりました。

子どもたちに「新しい踊りがあるのだけれど聞いてみる？」と声をかけると、目を輝かせて流れる音に耳を傾け始めます。「なーにこの曲?」「知らない」「楽しそう!踊ってみたい」と興味津々な様子でした。多くの方は小学校時代に耳にし、踊った経験がある曲かと思えます。年中組の子どもたちにとっては、自分の手を叩いて音を出すことは簡単ですが、相手の手と自分の手を合わせて音を出すというのは難しく、手を出すタイミングや相手に合わせた手の位置等、簡単そうに見えて意外と難しい動きが多くありました。教師の声掛けで、まずは手拍子から始めました。少しずつパチン!という音が鳴るようになると「聞こえてきた」と自然に笑顔になっていきます。そこに「ヘイッ」という掛け声も加わると音と言葉が合わさり、さらに嬉しくなり足のステップも加わると、ワンフレーズだけで子どもたちは大汗をかいていました。この部分は子どもたちの好きなパートの一つとなりました。もう一つは、みんなで円になって前に進み「マイムマイムマイム、マイムベッサンソン」というパートです。反対側で踊っている友だちと出会うのが嬉しくて、どンドン円の中心に進む子どもたちですが、この箇所は円の中心に進むだけではなく、前を向きながら後ろに進み、元居た場所にに戻ります。出会えた嬉しさから戻ってくるのが難しい

子どももたくさんいました。子どもたちだけでまた円になるのも一苦労です。

踊っているうちにマイムマイムが大好きになった子どもたちから、この楽しさを家族に伝えたいと声があがりました。そこで、“おたのしみ”という保護者参加行事で見えていただき、一緒に踊ることにしました。“おたのしみ”当日まで家族には、「秘密のダンスがあるから楽しみにしていてね」と伝え、子どもたちは胸が躍っているようでした。当日、子どもたちは保護者の前でいきいきと踊りました。「お家の方も一緒に踊りましょう」と声をかけると子どもたちも友だちとだけでなく家族とも楽しさを共有できたことが嬉しくて大喜びでした。「懐かしい気持ちになりました」「車の中でもマイムマイムを聞いています」「一緒に踊れてとても楽しかった」と保護者からもさまざまな感想をいただきました。後日子どもたちに聞いてみると「パパ、小さい頃に踊ったことあったって」「お家でみんなと手を繋いでやってみたよ」と、とても嬉しそうに話していました。さらに踊りが好きになった子どもたちは、友だちの手を取り合って、みんなで一つの円になるのも上手になりました。自分たちで考えて踊る楽しさも感じるようになり、今では創作ダンスで盛り上がっています。



やっと円になりました



おたのしみ お家の方とマイムマイム

メープル —かえで幼稚園の預かり保育—

主任・年少組担任 永瀬 真澄

かえで幼稚園では、通常の保育時間前後に保護者の希望に添っての預かり保育「メープル」をしています。

かえで幼稚園の預かり保育は子どもがご家庭で過ごすようにのんびり過ごしたり、お母さまに甘えるように先生とゆっくりと過ごしたり、手作業にじっくりと取り組むことができる時間です。

保育後、メープルの部屋に移動し遊び、15時にはおやつを食べ、その後保護者の方がお迎えにいらっしゃるまで保育室や庭でまた遊びます。

ある日の17時ごろ、その日残っているのはAちゃんとBちゃんの2人でした。Aちゃんのお母さまがお迎えにいらしたことに気づいた私は、先回りしてお部屋のAちゃんに「お母さんがいらしたわよ」と伝えに行きました。するとAちゃんとBちゃんは顔を見合わせてくすくすと笑いながら、こそごと話します。私がもう一度「Aちゃん、帰りの支度をしましょうね」と言葉をかけると、Aちゃんは、「えー、早いなあ、2人でスタンプラリーを作ったのにまだ誰も探してないのよー」と残念そうに言います。「スタンプラリー？」と私が聞くと、「そうよ、この部屋のどこかに私たちの作ったスタンプが隠してあります。ねっ、Bちゃん？」と顔を見合わせます。「今日はもう探す時間がないのだけれど……」と私が言うと、Aちゃんは「帰りの支度をしている間に急いで探して！」と言います。そういわれて私は必死に探しましたが、なかなか見つかりません。メープルの担当のM先生もニコニコしながら見えています。支度を終えたAちゃんが「仕方ない……ほらほら例えば、こんなところ」と部屋の滑り台の裏側や積み木の間から紙を丸く切って色を塗ったスタンプ（に見立てたもの）を取り出して台紙に貼ります。私が「あらーこん

なところにあったなんて全然、わからなかったわ」と言うと、Aちゃんは「あと4つあります。今度のメープルまでに探しておいてねー。さようならー」と言い、お母さまのもとに駆け寄っていきました。

部屋ではM先生とBちゃんが片付けをしながらスタンプリーの話を楽しそうにしています。Bちゃんは「2人で作って隠したの。明日までに先生、見つけれられるかなあー、こんな色のスタンプなんだけど、小さいからねー」等と話しています。

やがてBちゃんのお母さまもお迎えにいらして帰って行きました。

Aちゃんのお母さまも、Bちゃんのお母さまも、子どもの穏やかな表情を見て、ホッと笑顔で帰って行かれました。きっと道すがら、今日あったことを話しながら帰っていくことでしょう。

保護者の安心と穏やかな日常が守られるような支えをこれからもしていきたいと願っています。
(メープルは長期休みの時にも実施しています)



お母さんを待ちながらおにぎりをはおぼる子ども



おやつ時間



異年齢の子どもたちがいっしょに遊ぶ

卒業生が翻訳した

キリスト教関連の書籍紹介

新約聖書には、主イエスが「気を落とさずに絶えず祈るように」と教えられたことが記されています。どのような状況でも、祈りは私たちの心に慰めと希望をもたらします。ご紹介する書籍には、試練に直面したときの貴重な祈りの言葉が収められています。ぜひ、音声メッセージもあわせてお聴きください。

グラウンド・ゼロからの祈り

訳者：網中 彰子（1987年高等部卒業）、他

日本キリスト教団出版局 2004年

本書は、ジェームズ・R. マグロー著 *Prayers from Ground Zero* の日本語訳です。2001年9月11日米国同時多発テロ発生直後より、爆心地からわずか2.5ブロック先の教会でささげられた祈りから10編を厳選したものです。11月18日の収穫感謝礼拝まで続く祈りは、苦渋に満ちながらも神さまによる犠牲者や被害者の慰めと癒しを熱く求めています。



現場近くに建つアメリカ最古のメソジスト教会の熱い祈り

マグロー牧師からの突然のメール

英文のメールが届いたのはある冬のことでした。マグローという牧師から「翻訳と出版を許可します」との内容。

私は当時、日本基督教団の総幹事秘書として働いていました。文中に「グラウンド・ゼロからの祈り」とありました。日本基督教団総会議長であった山北宣久牧師が北米教会を訪問中でしたので（何か話をつけてきたのだな）と思いました。

帰国後の山北牧師より「メソジスト合同教会事務所を訪問した時、この祈りの本と出会い、翻訳・出版を思い立った」と伺いました。マグロー牧師の迅速なご対応に感謝しました。テロで破壊されてしまった世界貿易センタービル近くにあるアメリカ最古のメソジスト教会であるオールド・ジョン・ストリート合同メソジスト教会。1992年から仕えるマグロー牧師は、同時多発テロ発生後の最初の日曜日、停電している中でろうそくの灯りとピアノで通常通り礼拝をささげたと本に記されています。毎週の礼拝で公の祈りとして祈り続けた中から10日分の祈りが収められているのがこの本です。

山北牧師はご自分が仕える聖ヶ丘教会員の山岡清二先生（本学名誉教授）に相談し、8名の有志による翻訳が始まりました。書名を検索すると監修の後に私の

名前が先頭に出てきますが、五十音順でそうなたただけで、翻訳者全員の作であることは言うまでもありません。「祈りの本」と聞いていたので、短く簡易な表現なのだろうと思って翻訳を引き受けてしまいましたが、実際の祈りは長文で「これは本当に教会の礼拝の中でささげられている祈りなのだろうか？説教なのではないか？」と思うほどでした。その内容は神さまの創造^{わざ}の業から罪の悔い改めと社会の現実を行き来する、深くまた広がりを持つ切実な祈りでした。

長文翻訳は初めてでうまく進まず、山岡先生に「そろそろいかがでしょう」と微笑みながら督促されていました。どの辞書にも載っていない単語に幾つか突き当たった時は、私が高等部在学時の担任で、小学部では英会話の教師でもあった比企敦子先生に紹介された古い大きな辞書をあたって結果、ようやく見つかりました。大袈裟かもしれませんが、マグロー牧師の教養の深さのひとかけらを膨大な知識の深淵から見つけた思いがしました。

突きつけられる死を前にして

翻訳前に、同時多発テロに関してCNN（アメリカのニュースチャンネル）のWebサイトで日本では報道されていない、ある写真と解説を見つけたことを思い出しま

した。布のような物が掛けられて並んでいる多くのご遺体の傍らに近隣の牧師や神父など、教会関係者が駆けつけ、跪いて祈りをささげていました。ある宣教師によれば教職者だけではなく信徒も傍らで祈りをささげたそうです。あらゆる人があの混乱の中導かれて、名も知らぬ目の前の方のために神さまによる慰めの祈りをささげていたのです。

そのような状況の中、現場に近い教会で、この苦しく悲しい痛ましい事態のために熱い祈りがささげられました。一つ一つ丁寧に紡がれた言葉で構成されています。出席者が「アーメン(その通りです)」と心と言葉をあわせることで、多くの方の言葉にならない思いをも祈りの翼に乗せて、執り成しの主イエス・キリストの名を通して神さまのもとに毎週確実に届けられました。その祈りを翻訳することで更に多くの方が時も地域も越えて祈る機会を与えられました。

テロだけではなく災害や事件、事故、緊急事態が起きた時、命が失われるという圧倒的な死の闇の前になすすべもなくまず嘆くのが私たちです。けれども信仰はその思いをすべて祈りにして神さまにぶつけます。私が訳した第10日曜日、収穫感謝の礼拝の祈りの中にはこうありました。『私たちは、何者もキリストの愛から私たちを引き離すことはできないと知っています。——たとえ仕事や収入を失い、立ち退きで家を失おうとも。たとえ住む場所を失った困窮と悲嘆、元に戻って住めるようにするための苦難が私たちを襲い、死臭で息が詰まるような空気を吸うことになろうとも。』これはローマの信徒への手紙8章に基づいています。使徒パウロが言います。35節『だが、キリストの愛からわたしたちを引き離すことができましよう。艱難か。苦しみか。迫害か。飢えか。裸か。危険か。剣か。』、38～39節『わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、力あるものも、高い所にいるものも、低いところにいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです。』

網中 彰子さん

東洋英和女学院中学部在学時に日本基督教団聖ヶ丘教会で受洗。立教大学文学部キリスト教学科を卒業後、テレビ番組制作スタッフ、日本基督教団の総幹事秘書、ペテル教会主任牧師、NCC総幹事、横浜明星教会主任牧師等を経て、2023年4月より日本基督教団総幹事を務める。



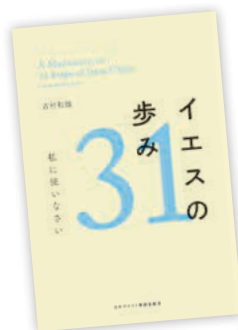
神さまの愛する世界には残念ながら未だ私たちの中にある傲慢さという罪や、自分の思い通りに他者を支配しようとするところから始まる戦いがあります。突然の死もやってきます。けれどもその現実を見て嘆いて終わらないのが祈りなのです。人のできることに限界を感じつつ、何とかしたい。それが祈りという行動を起こさせます。「神よ、なぜですか?」「神よ、これは何ですか?」と叫ぶ。射撃(しゃつ)と書いて「主よ!」との一言だけでも祈りなのです。思いを神さまに手放すことで与えられる慰め、癒し、希望があります。

信仰を与えられていない人からは「祈って何の意味があるのか」「祈っている場合か」と思われることもあります。信仰者でさえそう思うこともあるでしょう。自分が祈れなくても誰かが必ず祈っている。祈ることを誰も妨げない、マグロー牧師の強い確信がこの祈りの本を貫いています。

あらためて今読むと、なお祈りを必要とする現在の世界の困難な状況を思います。祈りがいつ形となるかは分かりません。神さまを自分の支配下に置いて従わせることはないからです。自分の思いを超える形で実現するからこそ救いとなります。日々誰かを心に留める。そんな愛の行きかう中に「神よ!」との一言でも、長い言葉でも、「お助けください」との願いで祈ることを続けたい。翻訳に関わって希望を思い起こさせる「祈りの本」との出会いでした。

お薦めの本 2冊

Recommend



[左] イエスの歩み 31 私に従いなさい

【著者】吉村 和雄

【発行】日本基督教団出版局 2024年

熟練の牧師が、降誕から復活まで、イエスさまの生涯の全体を31日でたどります。聖書の言葉、わかりやすいショートメッセージ、短いお祈りをワンセットにして、1日分。7、8分もあれば読める分量です。毎日読んで、イエスさまとずっと親しくなりましょう。これからイエス・キリストを知りたい方や、クリスマスプレゼント、病床へのお見舞いなどにもぴったりです。姉妹編の『聖書の祈り31』(大島力川崎公平著)もおすすです。

[右] 三浦綾子 祈りの世界

【著者】三浦綾子 文／おちあいまちこ 写真

【発行】日本基督教団出版局 2024年

三浦綾子さんの祈り31編と美しい写真とが響きあう一冊。例えば、病床での祈り。「主よ、書くことが御旨ならばお癒してください。御旨でなければ、このままでよろしゅうございます。まちがっても、書いてはならぬことを書くことがありませんように」。書くことの意味を、これほど厳しく問うた作家が他にいたでしょうか。祈る言葉は祈る人の本質をあらわします。彼女が信仰者として望んだもの、大切にしたいものを受け取りたいと思います。

教員紹介

身体表現でインクルーシブな
社会を目指す



Hiroko Nishi

大学

人間科学部 保育子ども学科

西 洋子 教授

お茶の水女子大学大学院人文科学研究科修了。神戸大学大学院総合人間科学研究科博士後期課程修了(学術博士)。1986年より保育現場での表現実践を開始。NPO法人みんなのダンスフィールド理事長。2025年4月から大学社会連携センターのセンター長に就任。犬のおおくととの散歩が楽しみ。



障がい者とともに行うインクルーシブダンス

院生からのメッセージ



大学院 人間科学研究科
人間科学専攻
幼児教育・発達臨床学領域
修士課程1年
坂倉 愛理

西先生は、朗らかで柔和で、周りの人を包み込むような温かさを持っています。先生の表現活動中は、私も一緒に表現をしているかのように惹き寄せられます。厳しさの中に愛があり、学生の力を信じて背中を押してくださる先生です。私は2025年4月に母校の大学院に戻り、再び西先生のもとで幼児教育の学びを深めています。

—研究内容と大学での教育について教えてください。

身体表現論が専門です。身体でのコミュニケーションや身体での創造や表現の研究をしています。東日本大震災では、被災した石巻に7年ほど毎月訪問しました。学生たちが一緒のときも多くありました。当時、発達障がいの子もたちが、言葉を使うカウンセリングではサポートしきれず、問題を抱えていました。そこで身体表現で安心感を得られるよう支援を行いました。

—身体表現を専門に活動されたきっかけは何だったのでしょうか？

小さい頃から身体で表現することが好きで、大学では舞踊教育学を専攻しました。大学時代は自分が表現者として活動することに夢中だったのですが、大学院に進学してから表現を研究する面白さを知りました。指導教官が国内外で講演をしながら、デモンストレーションやワークショップを行っていて、そのアシストを通じて、身体表現をすることで子どもから高齢者までさまざまな人たちが変わっていくことに気づきました。そこから、子どもたちと一緒に身体表現をする活動を始めました。

—今は障がいを持つ子どもたちと一緒に、インクルーシブに身体表現をする活動をされていますね。

ある時、障がいをもつお子さんが参加され、独特な表現をしていたのです。自由に表現するなら、肢体不自由で車いすを利用する人でもできるのです。障がいの有無にかかわらず、身体表現は誰でも一緒にできると気づき、1998年からインクルーシブダンスをコミュニティ活動として始めました。今は子どもだけでなく、保護者や高齢者も一緒にやりましょうと声をかけています。

—2024年のパリパラリンピックに参加されましたね。

AIロボットを研究する東北大学の平田泰久教授のお声かけで車いすロボットと一緒にベルサイユに設置されたファンゾーンでダンス公演の振付やデモンストレーションでのファシリテーションを行いました。一般的な車いすと違い、車いすロボットはセンサーで人の動きを感知して作動するので両手が空き、表現の幅が広がりました。まったく異なる工学系の研究と出会うことで、新しい経験ができました。

—英和生にメッセージをいただけますか？

英和生はこちらからお願いしなくても、体が勝手に動いて「何かお手伝いできますか?」と自然に入っている素養を持った人が多いと感じています。多くの人たちが英和生の力を必要としているので、自信をもって自分からどんどん助けを必要としている人の中に入れていってください。

子どもとともに保護者も支える



Mitsuko Nakagawa

大学付属かえで幼稚園

中川 光子 教諭

かえで幼稚園の卒園生。青山学院大学教育学部にて幼稚園教諭免許を取得。2000年より、大学付属かえで幼稚園に着任。その後、子育て中は職を離れ、かえで幼稚園の保護者として5年間子どもをかえで幼稚園に通わせる。復職し、現在は担任を担当。

趣味は、手芸、消しゴムハンコづくり、テニス等。



クラスの子どもたちみんなが天使になれるように足りない衣装を新しく作りました

同僚からのメッセージ



大学付属かえで幼稚園
飯島 有佳 教諭

中川先生が創り出される保育には子どもたちが楽しい、面白い、やってみたいと感じる遊びや表現が数多く散りばめられています。絵本を題材としたお話の世界、じっくりと作ること、体を思い切り動かすことなど、先生は子どもたちと一緒にいつも喜んで過ごされています。子どもにも保護者にもしっかりと寄り添ったり、背中を押し出している姿に私自身学ばされています。

—幼稚園教諭になった理由を教えてください。

中学3年生の時の授業で、久しぶりに出身園であるかえで幼稚園を訪れ、担任だった大漣知子先生と森高ホサナ先生(どちらも元園長)に再会しました。その時に触れ合った子どもたちがかわいかったことや、大好きだった先生方への憧れもあり、漠然と幼稚園の先生になりたいと思っていました。けれど大学に進学する時は、あまり将来のことは考えていませんでした。手芸が好きだったので短期大学の家政科に行くことも考えていましたが、4年制大学を選び、教育学部に進学しました。かえで幼稚園で働きたいとの思いから、幼稚園教諭の資格を取得しました。

—なぜかえで幼稚園で働きたかったのですか？

幼稚園時代のことは、ただただ遊んでいたことしか覚えていないのですが、楽しい場所だったという幸せな思い出しかなかったからです。働くなら、ここしかないと思っていました。通常、かえで幼稚園は東洋英和で幼稚園教諭の資格を取得した人を教諭として採用していましたが、私が就職する年は大学短期大学部が廃止になった影響で、東洋英和の卒業生がいなかったのです。神様のお導きだと思いました。

—新卒で入職した時と、子育て後に復職されてからで変化したことはありますか？

自身が出産、子育てを経験し、保護者を支えないと子どもを支えられないと考えるようになりました。そのくらい保護者をとりまく社会環境が変化してきているからです。保護者とお話しさせていただく時には、まず保護者の努力や悩みに耳を傾けるように心がけたいと思っています。

—どのような時に子どもたちの成長を感じますか？

子どもの心が動いたと感じる時です。まだ集団生活に慣れていない時期は、泣いている子どもをおんぶしてあげるのですが、別の泣いている子に、おんぶを代わってあげられるようになる時がきます。友だちもさびしいんだと理解して、ゆずってあげられるようになる姿を見られるのがうれしいですね。成長する時の大事なポイントを見逃さずに、ここぞという時に声をかけた後、そっと背中を押してあげられるようにそばで見守っていきたいです。

—最後に英和生へのメッセージをお願いします。

多くの英和生に通じますが、かえで幼稚園を卒園すると、ほとんどの子はキリスト教に触れない生活になります。英和を離れても神様がいつも見守ってくれていることを覚えていてほしいです。

インタビューは、卒園以来久しぶりに訪れた懐かしい東洋英和幼稚園で行われました。



日本で第一号となる 耳の聞こえない歯科医師

聴覚に障がいがありながら、2024年、歯科医師資格(免許)を取得。日本初の「耳の聞こえない歯科医師」となった杉野凜太郎さん。彼は、東洋英和幼稚園で過ごした後、小・中・高校時代をろう学校で学び、松本歯科大学に進学。現在、同大学病院で歯科医師として勤務しています。

今の杉野さんをつくった土台は東洋英和幼稚園にあります。初めての集団生活でしたが、先生も友だちも彼を分け隔てせず自然に受け入れ、コミュニケーションを取るために手話を覚えてくれました。ときには友だちと真剣にけんかするほど、周りの人との壁を感じなかったことが、その後の生き方に大きな影響を与えました。

歯科医師を目指したきっかけは、抗がん剤治療を受ける祖母が、副作用による歯のトラブルで苦勞する姿を間近で見たこと。日々の口腔ケアの大切さを痛感しました。また、医学部に進んだお姉さんから「医学部では歯科の領域は学ばない」と聞き、自分が歯科医になれば、将来は姉弟で協力して医療のトータルサポートができる……と考えたのも歯学の道に進んだ理由のひとつです。実は、当時は聴覚障がい者が歯科医師国家試験に合格しても、免許を取得できる保証はありませんでした。しかし、それを承知で進学を決意した杉野さんに、彼のお母さんは「聴覚障がいを乗り越えていくんだ」という強い意志を感じたといいます。

大学生活では多くの苦勞がありました。講義の内容は要約筆記者が文字起こしをしてくれますが、あくまで要約であり、話者の声のトーンはわからないため、どうしても抜け落ちてしまう情報もあります。授業後に友だちと勉強したとき、教授が大事だといったポイントが皆と異なると気づき、悔しい思いをしたこともありました。

大変だったのが、オスキー(OSCE)と呼ばれる臨床実



歯科医師として歯科治療を行っています

習前に実施される全国共通の評価試験(共用試験)です。聴覚障がい者が受験した前例がなかったため、手話通訳者を付け、専門的な内容のときは筆談にするなど、共用試験実施機構の人たちと受験方法を考えなければなりません。また、歯科医師国家試験の際も、試験の開始・終

了の合図が聴き取れないため、受験の半年くらい前から厚生労働省の担当者と配慮事項申請書を書き、医師の診断書も付けて提出する必要がありました。

歯科大学の6年間を乗り切れたのは、家族の精神的な支えが大きかったそうです。大学がある長野県にお姉さんと妹さんが訪ねてきて、一緒に旅したことはよい思い出です。お姉さんも妹さんも幼稚園から東洋英和で育ったため、旅行中は軽井沢の追分寮の話で盛り上がり、懐かしさとともに「頑張ろう」という気持ちになることができました。卒園した後も、御姉妹のご縁で、東洋英和は常に身近な存在であり続けているそうです。

今は歯科医師として、指導医と共に患者の診察に当たっています。患者と対面で会話する際は、患者の声はタブレットの音声アプリでテキスト化し、杉野さんが伝えたいことはカルテ用のパソコンで文字を打って意思疎通を図っています。ただし、歯の治療をしながら手話ではできないため、いったん治療を止め、文字で「痛くないですか?」などと確認する必要があり、時間のロスをもどかしく思うこともあるそう。多様な患者に寄り添った治療をしていくためにも、デジタルツールの改良や、コミュニケーションの取り方を工夫していく必要性を感じています。

耳が聞こえないことで失ったものがあるかもしれませんが、周りの多くの人々が支えてくれたことで、杉野さんは自分を受け止めることができました。聴覚障がい自分が自身や家族の人生に与える影響を考えると、「障がい=個性」とは割り切れませんが、障がいと向き合うことで生まれる個性はあると彼は考えています。

同じ歯科大学で学ぶ他国からの留学生に「耳の聞こえない歯科医師に会ったことがない」といわれるたび、自分が先陣を切っていることに気づかされるという杉野さん。この先、聴覚障がいを持つ人が歯学の道を目指すとき、杉野さんの足跡が大きな道しるべとなることでしょう。

Profile 杉野 凜太郎

1995年、聴覚障がいを持って生まれる。1999年東洋英和幼稚園に入園。小学校から高校までをろう学校に学び、2018年に松本歯科大学に進学。2024年3月大学卒業と共に、歯科医師国家試験に合格。現在同大学病院で歯科医師として勤務中。重度の聴覚障がいという重荷を負いながらも、与えられた命に尊い使命があり、その使命に生きたいと決意し、歯科医師の道を歩み始めた。姉・麻帆さん、妹・里奈さんは共に、幼稚園から東洋英和で学ぶ。



保険も美容も手術も、皮膚のことなら
いろは皮膚科へ

池上駅前いろは皮膚科

中橋 澄江(2002年高等部卒)

住所 大田区池上 6-4-3 第一小木ビル2階

TEL 03-6303-5445

URL <https://iroha-hifuka.com>



Check! 2024年10月に東急池上線「池上駅」徒歩1分の場所に皮膚科クリニックを開院しました。にきびやアトピーなどの保険診療、シミやしわなどの美容診療、ホクロや粉瘤の日帰り手術も行っています。



ブックカフェ×ギャラリー×出版=
文化複合施設

ふげん社

関根 史(2010年高等部卒)

住所 目黒区下目黒 5-3-12

TEL 03-6264-3665

URL <https://fugensha.jp/>



Check! 目黒通り沿いにある文化複合施設「ふげん社」は、自家焙煎珈琲やケーキを楽しめるブックカフェと、現代作家の企画展を月替わりで開催するギャラリーを併設。雑誌や写真集の出版や、写真賞の主宰もしています。

創立140周年記念募金報告

あたたかなご支援ありがとうございました。
感謝を込めてご報告いたします。

[目標金額:25,000,000円]

寄付
金額

47,944,660円

(1,270件)



寄付金で新規購入・修繕した遊具であそぶ園児たち

アニメ『アン・シャーリー』放送中



NHK Eテレにて4月5日より放送中

毎週土曜日18:25(予定)/毎週木曜日19:20 再放送(予定)

原作は、世界中で愛されているモンゴメリ著・村岡花子訳「赤毛のアン」シリーズ(新潮文庫刊)。日本でも1952年に翻訳版が出版されて以来、70年以上にわたって愛されてきた不朽の名作。今なお色あせないこの物語が、新たな青春物語となってアニメーションシリーズ『アン・シャーリー』としてよみがえります。プロデューサーは1982年高等部卒業の中山佳子さんです。



楓の会主催「元タカラジェンヌ成瀬こうきさんと迎えるクリスマス」

今年の東洋英和楓の会主催のイベントは、東洋英和女学院高等部卒業生の元タカラジェンヌ成瀬こうきさんによるトークとミニコンサートです。

卒業生の皆様や小さなお子様と保護者の皆様と一緒に楽しめるクリスマスの曲や、宝塚歌劇団の曲などを予定しています。

日時: 2025年11月24日(月・振休)
開演: 13時30分(開場 13時00分)~15時00分(予定)
会場: 東洋英和女学院中上部 新マーガレット・クレイグ記念講堂
入場料: 無料
申込方法: 7月1日(火)より申し込み受付開始
右のQRコードよりお申込みください。
問合せ先: kaedenokai@toyoeiwa.ac.jp



成瀬 こうき

幼稚園から東洋英和に学び、1989年、高等部を卒業後、宝塚音楽学校に入学。宝塚歌劇団77期生。月組公演『ベルサイユのばら』で初舞台。男役スターとして、月組、雪組、新専科で活躍し、2002年退団。退団後は舞台を中心に活動。結婚と出産を機に育児に専念し、2016年活動再開。現在はコンサートやライブ、朗読ミュージカルなど歌を中心に活動中。



椎名 葵

元タカラジェンヌ、幼稚園より高1まで東洋英和で学ぶ



(司会)

江口 ともみ

幼稚園から短期大学まで東洋英和で学ぶ

朝ドラに登場しなかった……！重要人物

— 展示コーナー企画展「片山廣子と村岡花子」のご案内 —

この4月からNHK Eテレでテレビアニメ『アン・シャーリー』が放送されています。原作である『赤毛のアン』の翻訳者であり、東洋英和の卒業生である村岡花子に注目が集まりそうです。

10年以上前になりますが、村岡花子の生涯をモデルとしたNHK連続テレビ小説『花子とアン』（2014年）の放送も大きな話題となりました。その朝ドラで、「いつ登場？どの俳優さんが演じるの？」と待ちわびて、ついに登場しなかった重要人物がいます。その人物とは、歌人で翻訳家の片山廣子かたやまひろこです。東洋英和女学校初期の卒業生で、花子が大きな影響を受け、生涯にわたり交流しました。

片山廣子は1878（明治11）年に麻布で生まれ、7歳の時に東洋英和に入学し、カナダ人宣教師たちから西洋の生活習慣、キリスト教、英語を学びます。卒業後、歌人の佐佐木信綱に師事し、女性歌人として頭角をあらわします。ま

た、「松村みね子」のペンネームでアイルランド文学の翻訳に打ち込み、上田敏、坪内逍遙、森鷗外らに高く評価され、芥川龍之介には「オチの上にも格闘出来る女に遭遇した」と評されました。

現在、本部・大学院棟の村岡花子文庫展示コーナーにて「片山廣子と村岡花子」のテーマで展示を行っております（2026年1月9日まで）。村岡花子を導き、天才・芥川も感嘆させた英和生、片山廣子については是非この機会に知っていただきたいです。

村岡花子が多大な影響を受けた「片山廣子」



●「史料室だより」No.104では「自由と豊かさの雫—東洋英和女学校と岡上淑子さん—」と題して、戦後にフォトコラージュ作家として活躍した卒業生、岡上淑子氏を特集しています。以下のURLもしくはQRコードからお読みいただけます。

<https://www.toyoeiwa.ac.jp/archives/publications/>

● 史料室TEL:03-3583-3166 / FAX:03-3583-3329 ホームページ <https://www.toyoeiwa.ac.jp/archives/>



後援会より

2025年度後援会総会のご案内

2025年度後援会総会を以下のとおり開催いたします。

当日は、総会、学院各部説明会に引き続き、学院各部責任者や教職員にもご参加いただく懇親会も予定しております。後援会会員の皆様におかれましては、是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

日程：2025年7月4日（金）

時間：18時00分～20時45分（予定）

場所：ANA インターコンチネンタルホテル東京

備考：要事前申し込み

※詳細は、後援会よりお送りするご案内をご覧ください。



2024年度後援会総会の様子

大学同窓会 楓美会より

学生との連携で大学図書館に給水機が設置されました！

清楓会・英和生の声・SDGs研究会 Comraderyの各学生組織より楓美会へ「学生や社会に役立つ活動をしたい。そのために先輩方の力を貸してほしい」と相談がありました。話し合いの結果プラスチックごみ削減を目指し、自然環境に配慮した給水機の設置に向けて連携がスタートしました。楓美会だからこそできる支援を考え、皆で一つの目標に向かい共に学び、成果を発信しようと約1年活動を続けました。結果、多くの方の応援と賛同を得ることができました。学生と教職員の方より「楓美会の皆さんありがとうございます！」とお声をいただいております。



給水機のお披露目会にて
（詳細は楓美会会報「楓美」30号をご覧ください）

学院同窓会より

同窓会クリスマス礼拝

2024年12月7日（土）、約220名の同窓生ご参加のもと同窓会主催のクリスマス礼拝をお守りしました。説教は「あなたが会った天使」のタイトルにて、中高部聖書科の上野峻一牧師にお話しいただき、また礼拝後には元中高部社会科学教諭でいらっしゃる『140年史』の監修をお願いした水谷悟先生による年史刊行記念講演会を開催いたしました。校歌にまつわるとも興味深く貴重なお話に引き込まれ、あっという間のひとときでした。

（東洋英和女学院同窓会は法人化を目指して準備を進めて参ります。）



『東洋英和女学院140年史』刊行記念講演会
（講師：静岡文化芸術大学教授 水谷悟先生）